

【第1回】タスクフォース活動報告

タスクフォース名：城内診療所在り方タスクフォース

会議開催日時：令和3年1月15日（金）16時00分～17時30分

会場：城内診療所 食堂

参加者：外山副市長、診療所（所長他、看護師・事務職員2人）、市長部局（4人）、事務局（2人）

会議の内容

- 今までの経過について（医療対策推進本部とタスクフォース、提言など）
- 城内診療所のあゆみと概要について
- 城内診療所の収支状況と運営状況について
- 意見交換

各委員からのご意見

- 人件費は、医業収益の全てでも賄えない状況。
- 大和病院と市民病院の間であり、城内という立地はいいと思う。元病院という事もあり、3つある診察室などをうまく利用すればもっと患者が来るのではないか。
- 城内から大和へのバス直通はない。市民病院へは市民バスは乗り換え不要。路線バスは駅で乗り換えが必要。市民バスをやめ、オンデマンドになってしまうと需要が分散してしまい、バスやタクシーが何台も必要という形になるのでコストがかさむ。
- （オンデマンドは、）特定の人には手厚いけれども、全体的にみるとどうかなっている事も言える。城内診療所では独自に送迎を行っている。
- 高齢者が乗り換えをして行く、というのは難しい。乗り換えありなしは別として、一度乗ってしまえばその距離が倍になるが、気にならないと思う。
- 南魚沼市全体で、訪問在宅などの需要がどの位あるか把握できていない。しかし通院できない患者さんがいて、訪問診療をやっている医療機関に紹介することがあるので、需要はあると思う。診療所単体で考えた場合、訪問診療はリスクが大きい。訪問という形にするなら、いざとなったら引き取ってくれる病院をバックに持ちながらやる必要がある。
- 通所リハビリなどは、広い施設で病院から診療所に変えた所では、次の選択肢として一般的。
- サ高住などへの移行を考えると、建物の耐震化工事などが必要となる。
- 診療所がやっているオンデマンド（送迎）をそのまま、大和病院とか市民病院とかに連れて行けばいいのは。
- 施設が大きいままであり、診療の流れの無駄を多く作っている。何をやるにも移動が出てきて、動線が何倍もある。人を増やして対応しているが非常に効率が悪い。

- 予約制が多いとなれば、診療日が週3日、4日だとしても、今までの患者さんは不便性を感じないといえるのではないか。高齢者が多いため、どうしてもこの曜日じやなきゃ仕事を休めないという事はほぼないのではないか。
- 医療のまちづくり検討委員会の提言のとおり、地方公営企業として市民病院の会計の中に組み込んで、ドクターを含め行ったり出来れば、午後診でもいいのではないか。
- 診療日数が減った場合、駅前薬局が対応できるか。民間である薬局さんが対応できれば、市民病院の体系の中でやりくりできるのではないか。

今後の課題・対応

- どうやって効率的な運営をやっていくのか。
- 提言通り、市立病院（公営企業会計）の中に組み込んだ中（条例改正が必要）での運用について、もう少し具体的な検討を行い再度議論する。